

平成 28 年 2 月 9 日

中央労働災害防止協会  
技術支援部 次長 齊藤 信吾  
【照会先】  
総務部 上席専門役 間宮 直樹  
(電話) 03-3452-6542 (FAX) 03-3452-9225  
E-mail [koho@jisha.or.jp](mailto:koho@jisha.or.jp)

# 労働安全衛生マネジメントシステム

## ISO 規格発行へ向け大詰め

～中災防、JIS 原案作成団体となる申請～

**最新情報説明会を開催(東京、名古屋、大阪)**

### 1 最終段階にある ISO 規格化

国際標準化機構 (ISO) はプロジェクト委員会 (ISO/PC283) を設置し、平成 28 年 10 月の発行を目指して、労働安全衛生マネジメントシステム (\*1) の規格 (名称: ISO45001 (OSHMS)) の作成を進めている。

新たに設ける ISO45001 (OSHMS) は、品質管理 (ISO9001) や環境管理 (ISO14001) に並ぶ労働安全衛生の管理規格として位置づけられる。

労働安全衛生の専門機関である中災防は、ISO プロジェクト委員会に日本代表エキスパートとして職員を派遣し、ISO45001 の作成に協力している。

同規格の作成段階については、現在のところ **WD** (Working Draft: 作業原案) を経て **CD** (Committee Draft: 委員会原案) まで終了し、**DIS 案** (Draft International Standard: 国際規格案) が ISO プロジェクト委員会を構成する各国に回付されており、5 月 12 日までに DIS として承認するか否かの投票及び内容に対するコメント募集が行われる予定である。

### 2 ISO45001 の JIS 原案作成団体 (事務局) として中災防が申請

ISO45001 をわが国の安全衛生水準のさらなる向上につなげるためには、本規格の齊一的な理解と運用が求められる。そのためには日本の実情を踏まえた各事業場が理解しやすい JIS (日本工業規格) を作成し (\*2)、広く適正に普及することが必要である。

中災防は厚生労働省の OSHMS 指針 (\*3) に基づいた JISHA 方式適格 OSHMS 認定 (\*4) を平成 15 年に開始しており、JIS 作成にそのノウハウを活かすため、行政、

裏面に続く

業界団体、関係機関との調整を経て、昨年12月日本規格協会に対し「JIS原案作成団体」となる申請を行った。

本年4月からJIS作成委員会及びワーキンググループによるJIS原案の作成作業にとりかかる予定である。

なお中災防は、事業場がISO45001の要求事項に適合したマネジメントシステムを運用しているか審査する認証機関(\*5)となる予定である。

### 3 ISO45001 最新情報説明会の開催

ISO45001 発行が間近に迫り、ISO規格への関心が高まる中、中災防では東京、名古屋、大坂で説明会を開催し、日本代表エキスパート等から以下のプログラムに沿って詳解する。

本説明会では、事業のグローバル化を進める企業にとって有益なISO45001のいち早い取り込みに役立つ情報等を提供する予定である。

プログラム：①開発状況、②要求事項の解説、③厚生労働省 OSHMS 指針、JISHA 方式との関係、④事業場への取り込み方法、⑤今後のスケジュールと JIS 作成

場所・期日：東京（2月22日、3月24日）、名古屋（2月26日）  
大坂（3月29日）

定員：各会場とも100名

#### ○詳細はWebでご確認ください

労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）のISO規格化の経緯等の詳細については、中央労働災害防止協会ホームページのトップページから詳細が確認いただけます。

中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/>

または、



## JISHA 中災防

(注) 中災防は、昭和39年(1964年)に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会長：榊原定征(日本経済団体連合会 会長)

理事長：関澤秀哲